

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	斜里町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	世界自然遺産知床環境保全プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <p>斜里町は、世界自然遺産に登録された知床を擁する町であり、現在、国内外から注目を集めている。世界自然遺産登録に至るまでの町の取組みとして自然保護条例の制定や日本のナショナルトラスト版「知床100平方キロ運動」を展開するほか、自治体環境政策の推進を目的とした環境自治体会議で先駆者的な役割を果たしてきた。</p> <p>しかし、現在、斜里町の一般廃棄物は、生ごみを堆肥化し農地に還元しているものの、その他のごみは破碎し埋め立て処理しているが、減容率が低い処理方式のため最終処分場への負担が大きく自然環境に負荷をかけている。</p> <p>前述のとおり、斜里町は世界自然遺産地域の玄関口にあたる場所であることから、多くの観光利用者がもたらすごみを処理することも必要である。</p> <p>このようななか、斜里町では生ごみ堆肥化のリサイクルに加え、平成6年度から空缶・空瓶・紙類など8品目の資源物を収集・再生するリサイクル事業をスタートさせるなど徹底した分別などにより、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を進めてきた。</p> <p>しかし、最終処分場には限界があることから、従来の処理方式を見直し自然環境への負荷を軽減する中間処理方式が求められている。</p> <p>そのため、ごみの減容率の高い高温高压方式(燃料化)等の処理施設を整備し、処理後の生成物を石炭代替燃料として民間ホテル等に販売し、資源を再利用するシステムの配備をする。また、生ごみは新たな処理方式の生ごみ堆肥化施設を整備し、廃棄物(生ごみ)を資源化し農地に還元するリサイクルを行い、さらなる3Rを推進するものである。</p> <p>さらに、自治会・各団体など一体となり、地域住民も積極的に参画できる循環型社会を形成するための取組みをすすめる。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>①最終処分場埋立量の3,000t減少を目指す。(年間4,000t→1,000t)</p> <p>②新堆肥化施設の性能向上による堆肥生産量の200t増加を目指す。(年間500t→700t)</p> <p>③一般ごみの燃料化、生ごみの堆肥化によるリサイクル率の向上を目指す。(37%→70%)</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成23年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩環境保全プロジェクト
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.town.shari.hokkaido.jp/03admini/30zaiseijoho/files/sekaisizenisansiretokokankyouhozenproject.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
循環型社会形成・省資源リサイクル推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量の推進として、各家庭における「生ごみの自家処理」の推進、住民団体による「資源の集団回収」の推進、女性団体を中心とした「マイバック運動」の支援、さらに小中学生を対象とした「環境教育活動」の実施などを行う。 資源の有効活用の徹底として、地域住民・自治会の協力を得て「資源物の分別収集」の徹底をすすめる。さらに地域住民と商店などが一体となった「再生品の利用拡大」をすすめる。 環境にやさしいごみ処理の推進として、自治会全体による「ごみステーションの適正管理」「ごみ搬出時の指導強化」を推進する。また、自治会・衛生団体なども一体となり「不法投棄対策」の強化を図る。 	18,781	
			(18,781)
基本計画等策定事業	<ul style="list-style-type: none"> 斜里町一般廃棄物処理施設整備にあたって、用地測量、地質調査等を実施すると共に施設の基本計画等を策定する。 	42,459	
		(38,609)	
総計		61,240	
		(57,390)	
その他特記事項			

